

特定外来生物「セアカゴケグモ」の発見について

8月19日（月）に金沢市内において特定外来生物の「セアカゴケグモ」が発見され、本日までに専門家により、同種であることが確認されました。セアカゴケグモのメスは毒を持っていますが、その習性はおとなしく、素手でつかんだり、クモの巣に触れたりしない限り咬まれることはありません。発見した際は触れたりしないよう、ご注意ください。

1 発見について

- (1) 発見日時：令和元年8月19日（月）午前11時頃
- (2) 発見個体：セアカゴケグモのメス 1匹
- (3) 発見場所：石川県金沢市内 ※すでに駆除済み
- (4) これまでの発見例：金沢市（平成26年 7月19日（土））
能登町（平成27年10月 9日（金））
白山市（平成29年 9月11日（月））
野々市市（平成29年11月2日（木））
小松市（令和元年6月1日（土））
※今回が石川県内6例目

2 セアカゴケグモについて

(1) 特徴

- ・毒を持っているのは、メスのみ
- ・メスは約7~10mmで全体に黒色を呈し、背中及び腹部には、赤い模様あり
- ・オスは約5mmで、茶褐色

(2) 生息場所

生息場所は、日当たりの良い場所にある構造物の隙間や側溝に営巣していることが多いとされている。

(3) 駆除方法

直接踏みつぶすか、家庭用殺虫剤を直接吹きかけ、駆除。

(4) 咬まれた場合の症状

針で刺されたような痛みがある（すぐに痛みを感じないこともある）。その後、咬まれた場所が腫れたり、痛みが全身に広がり、発汗や吐き気を起こすことがある。通常は数時間から数日で症状は軽減する。ただし、小児や高齢者では、まれに重症化することがある。

※詳しくは、自然環境課のホームページを参照してください。

(<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/gairaishu/seaka.html>)

※写真データを提供します。必要な社はお尋ねください。



発見されたセアカゴケグモ（メス）